



会長挨拶

ご挨拶 西条西倫理法人会 会長 関野 邦夫



一昨年のリーマン・ショックからようやく立ち直りを見せ始めた日本経済は3月11日の東日本大震災が発生、そして福島原発事故、円高傾向、計画停電、増税論議、この様な中での国会の迷走は、ただただあきれ限りのであります。底を脱したと言われながらも、まだまだ景気回復の予兆は強く感じません。このような時に大手企業は海外生産移行に拍車がかかり、中小企業も海外移転をしなければ、活路を見出せない状況になってきています。「社員を守り会社を存続することが、経営者の

第一の責任であると思います」

「経営者の自己革新をはかり、心の経営をめざす人々のネットワークを広げ、共存共生の精神に則った健全な繁栄を実現する」という倫理法人会憲章の指針を深く理解し、貴企業の倫理経営を達成して頂きこの不況を乗り切っていただきたいと思っております。どうか倫友の皆様方におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

各委員会報告

普及拡大委員会



普及拡大委員長 亀川 繁和

平成23年度、愛媛県倫理法人会の普及拡大の指針として、会員数1817社を目標にしています。その達成の手段として、砥部倫理法人会を8月1日に正倫理法人会としての設立を目指すために会員数100社以上を目標とし、愛媛県倫理法人会東予地区6単会合せて756社を目標に掲げています。

そういう経緯の中で、我が西条西倫理法人会は102社の会員数を目指しており、愛媛県倫理法人会の会員数が16単会で1817社を実現できるよう、我が西条西も最大限の力添えをしたいと考えています。現在、西条西の会員数は79社（7/1）ですので、8月1日までにあと23社の会員普及を必要としております。

つきましては、西条西倫理法人会の普及拡大目標の達成と、引いては愛媛県倫理法人会の普及拡大指針の実現に向かって、新規会員企業候補のご紹介をいただきたく、倫友の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

女性委員会



女性委員長 檀壇 富子

愛媛県倫理法人会 東予地区 女性委員会では、平成22年11月22日に四国中央市のホテル グランフォーにて～女性塾・絆～を開催いたしました。

毎年恒例となっている11月22日の良い夫婦の日を「いい出会いの日」として今回は、講師に磯田サヨ子夫人スーパーバイザーをお招きしご講話していただきました。

磯田先生は、「素直になると物事が正しく見えるようになる。素直になると人が集まってくる。」「ものごとを明るく前向きに捉えると自分の能力を超えた大きな力が働く。偶然ではなく必然性ですよ。」「男と女の尊卑はない。しかし尊重と順序を間違っってはならぬ。位置と価値を間違っってはならぬ。各々その立場を間違っってはならぬ。」などの話をご自身の体験談を交えて分かりやすく講話下さいました。

また第2部懇親会では、四国中央市の倫友の役者陣が中心となって会場を盛り上げ、楽しく交流することができました。

女性委員会では、その他にも色々な活動をしています。ぜひ機会があればご参加ください。



研修委員会



研修委員長 白石 公一

愛媛県倫理法人会のホームページに、吉川方面長との対談で「純粋倫理を学び、倫理経営を実践する企業の輪を広げて地域社会の発展・繁栄に貢献していくというのが倫理法人会です。」とあります。研修委員会は越智、今井、伊藤の各副委員長また各委員・会員の皆様のご協力をいただき西条西倫理法人会に楽しい学びや嬉しい出会いを創り、会員の輪を広げて西条西倫理法人会の発展・繁栄に努め、ひいては地域社会の発展・繁栄に貢献出来るよう頑張ります。宜しくお願いします。

平成23年2月15日（火）第8回会員研修（ナイトセミナー）が開催されました。講師は、（社）倫理研究所 参与の三好雅典氏。

『テキストV ⑧-商売の秘訣』から、お客様の心の中に飛び込んで行く「熱意」、「誠意」、慢心に陥らぬ「創意」の3点を強調されました。

物（商品）には、創造（つく）られた目的があり、商品であれば、我が家族、嫁に出すように手渡すのが商売であると教わりました。

自分の「都合の世界」で終わってはい、周りの本当の姿が見えてこない。都合の世界で終わらぬよう「朝起き」を続けましょう。

ナイトセミナーは、夕方の時間帯のため参加者数は苦戦続きですが、その分、講師により近づいて講話を頂けます。是非、「都合」をつけてご参加ください。



モーニングセミナー委員会



MS委員長 永市 保

西条西倫理法人会が分封設立され滿2年を迎えようとする6月1日（水）のモーニングセミナーは、西条倫理法人会 伊藤裕樹会長を講師に迎えて行われました。会長の波瀾万丈の半生から、実践倫理を学びました。委員一同、このセミナーを通じて、職場や家庭に実践倫理の和が拡大されることを願ひ、毎週励んでいます。是非、ご参加ください。



朝礼委員会



朝礼委員長 大棟 真二

今回は、職場の教養を用いた『活力朝礼』について紹介いたします。

活力朝礼とは

働く意味、仕事をする理由、何のために仕事をしているのか、目的は何なのか、それを再確認するための場として行われています。

活力朝礼の手順…

- 1、その場に居る人・物への挨拶
- 2、天に感謝（神棚等への拝礼）
- 3、会社経営の目的（理念・社訓等の唱和）
- 4、一人一人の目指すもの（具体的な行動等の宣誓）
- 5、職場の教養の活用
- 6、業務連絡（スケジュールの確認等）

活力朝礼を続けていると…

プライベートと仕事の区別がはっきりする。

同じことの繰り返しにより、また、職場の教養を利用することにより、社員と経営者の橋渡しになる（感想を述べることにより、一人一人の考え方が皆に浸透する）等、様々なメリットがあります。

皆様の職場でも活力朝礼を導入してみませんか？

企業への朝礼訪問、朝礼研修などを通じて導入のサポートを実施していますので、お気軽にお声掛けください。喜んでお手伝いいたします。

青年委員会 青年委員会活動について



青年委員長 平野 克政

青年委員会では、若者らしい（？）色々な事業を、県、各単会主催で執り行っています。

3月25日には、株式会社大屋代表取締役社長で愛媛県倫理法人会青年委員長の伊藤慎太郎氏を講師に「企業風土 体質改革への挑戦」というテーマで座談会が開催されました。

伊藤氏が会社に入社された頃は、業績の悪化から社内には不満が蔓延していたそうです。

そこで、社員が一つの方向に向かって頑張れる社風にする、と決意し努力を重ねたことや、ドラッグストアを開業する時、社内から反対意見が続出したこと等から、伊藤氏がどうやって改革と挑戦をしてきたのか話を伺いながら、自社に反映させていくにはどういった決意でのぞむべきか？ 考え、そして意見交換を有意義な時間となりました。

青年委員会では他にも講演会、ゴルフコンペ等参加して楽しい事業も企画しておりますので、皆さま（特に若いメンバーの方）ご参加よろしくおねがいします。